



農地法第4条第1項の規定による許可申請書

令和 2 年 7 月 1 0 日

都道府県知事

殿

実印

申請者 氏名 大郷 太郎



下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

1 申請者の住所等	住 所								職 業	
	大郷町粕川字西長崎5-8 電話 (022) 359 - 5517								農業	
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地 目		面積	利用状況	10a当たり 普通収穫 高	耕作者の 氏名	市街化区域 市街化調整区域 その他の区域の別	
		登記簿	現況							
	大郷町 粕川字屋鋪	5-8	田	田	350 m ²				その他	
	大郷町				m ²					
計 350 m ² (田 350 m ² 、畑 m ² 、採草放牧地 m ²)										
3 転用計画	(1) 転用事由の詳細		農機具用 倉庫建築			事由の詳細		申請地は自宅の隣接地であり、 倉庫建築に最適な場所である。 田植え機1台、コンバイン1台、 乾燥機1台を格納する。		
	(2) 事業の操業期間又は 施設の利用期間		年 月 許可 日から 永 年間							
	(3) 転用の時期及び 転用の目的に係る 事業又は施設の 概要	工事計画	R2年9月1日からR2年11月30日まで				合 計			
			名称	棟数	建築面積	所要面積	名称	棟数	建築面積	所要面積
		土地造成				350 m ²				350 m ²
		建築物	倉庫	1	250 m ²	m ²		1	250 m ²	m ²
		小 計		1	250 m ²	350 m ²		1	250 m ²	350 m ²
工作物				m ²	m ²			m ²	m ²	
小 計			m ²	m ²			m ²	m ²		
計		1	250 m ²	350 m ²		1	250 m ²	350 m ²		
4 資金調達に ついての計画	自己資金	借 入 金						計		
		銀 行	知 人		そ の 他					
	200,000 円	300,000 円						500,000 円		
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要	近隣に土砂等の流出がないように施工するため、被害は生じないと思うが、万が一被害が生じた場合には、直ちに防除対策を行う。 排水については、公共下水道を利用し、雨水については、溜桧を設置し、浮流物等の直接流加防止に努める。									
6 その他参考となるべき事項	申請人の経営面積（許可を受けようとする土地を含む） (田 15,634 m ²) (畑 1,285 m ²) (採草放牧地 m ²) 合計 16,919 m ²									

(記載要領)

- 1 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を自署する場合には、押印を省略することができます。
- 2 申請者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容を、それぞれ記載してください。
- 3 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作又は一毛作の別、畑にあっては普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別を記載してください。
- 4 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- 5 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- 6 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。